

# 聖霊・堅信の秘跡

## ◆ 聖霊の約束

1. 聖書「エッサイの株からひとつの芽が萌えいで／その根からひとつの若枝が育ち/その上に主の霊がとどまる。知恵と識別の霊／思慮と勇気の霊／主を知り、畏れ敬う霊。」イザ 11:1-2
2. 聖書「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、／主がわたしに油を注がれたからである。」ルカ 4:18
3. 聖書「あなたがたはご存じでしょう。ヨハネが洗礼を宣べ伝えた後に、ガリラヤから始まってユダヤ全土に起きた出来事です。つまり、ナザレのイエスのことです。神は、聖霊と力によってこの方を油注がれた者となさいました。イエスは、方々を巡り歩いて人々を助け、悪魔に苦しめられている人たちをすべいやされたのですが、それは、神が御一緒だったからです。」使 10:37-38
4. 聖書「言っておきたいことは、まだたくさんあるが、今、あなたがたには理解できない。しかし、その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである。その方はわたしに栄光を与える。わたしのものを受けて、あなたがたに告げるからである。父が持つておられるものはすべて、わたしのものである。だから、わたしは、『その方がわたしのものを受けて、あなたがたに告げる』と言ったのである。」ヨハ 16:12-15
5. 聖書「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」使 1:8
6. 聖書「すると、ペトロは彼らに言った。「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供にも、遠くにいるすべての人にも、つまり、わたしたちの神である主が招いてくださる者ならだれにでも、与えられているものなのです。」使 2:38-39
7. 聖書「イエスはこう答えて言われた。「わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその人のところに行き、一緒に住む。」ヨハ 14:23

## ◆ 神の自己啓示

「旧約聖書は、御父を明瞭に、御子を漠然と告げ知らせました。新約聖書は御子を明らかにし、聖霊の神性を垣間見せました。今や、聖霊はわたしたちの間ではっきりと認められ、わたしたちにご自分を明らかに示されます。」(ナジアンズ聖グレゴリオ)

多神論 (教)

→

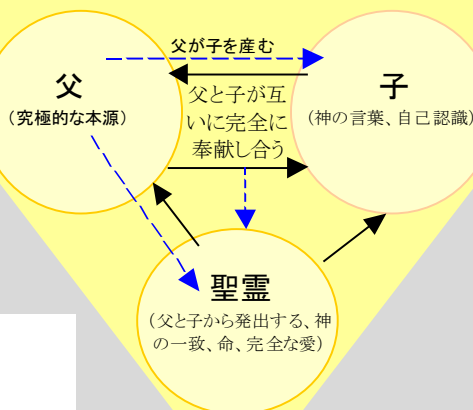
一神論 (教)

→

三位一体 (父・子・聖霊)

「わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってください。」 1ヨハ 4:16

神性



真の愛は、相手を受け入れ、自分を相手に奉獻することですので、愛は、愛し合う人を結ぶ絆であり、愛の完成は、愛し合う人の一致です。

三位一体の神の神秘は、父と子と聖霊の完全な愛の交わりの神秘です。

父： 創造  
子： 救い  
聖霊： 完成

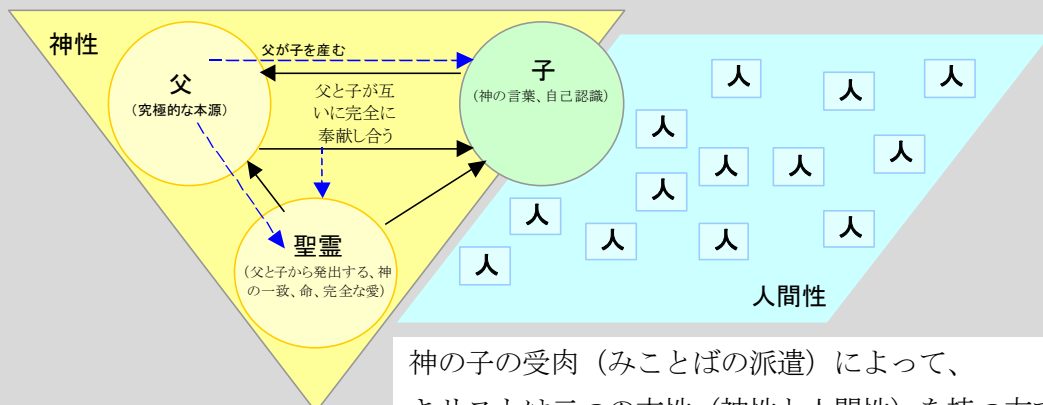
三位一体の神

- **聖霊**の呼び名は一般に、**風**や**息**などの自然現象を表わす言葉から借りた普通名詞である(ヘ: rûah; キ: pneuma; ラ: spiritus)。「あなたは御自分の息を送って彼らを創造し、地の面を新たにされる」(詩 104:30)という聖書の言葉には、神の息と神の霊とが同時に表明されている。つまりこの句は、神の**息吹き**によって宇宙全体の四季の営みが律せられていることと、神の霊の注入によって人間の心が生かされることをたくみに指摘しているのである。神の霊の象徴としては、一般に**水・火・空気・風**、塗油、雲と光、証印、指、はとなどが用いられる
- **位格・人格** (ラテン語で persona、ペルソナ) は、他者に対して区別される主体。また自己が成立つ個物のこと。理性、自分の存在の意識、意志、性格、価値観を持っている存在。自分の個性を失うことなく他の位格と繋がる事が出来る。

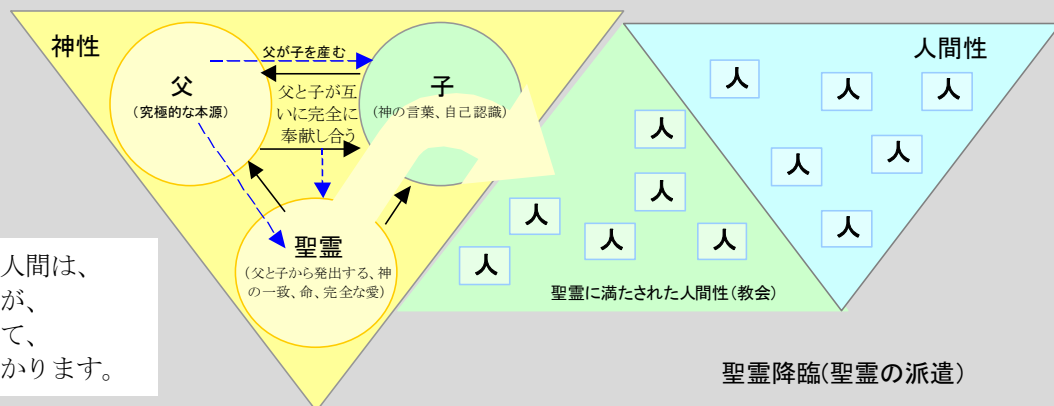
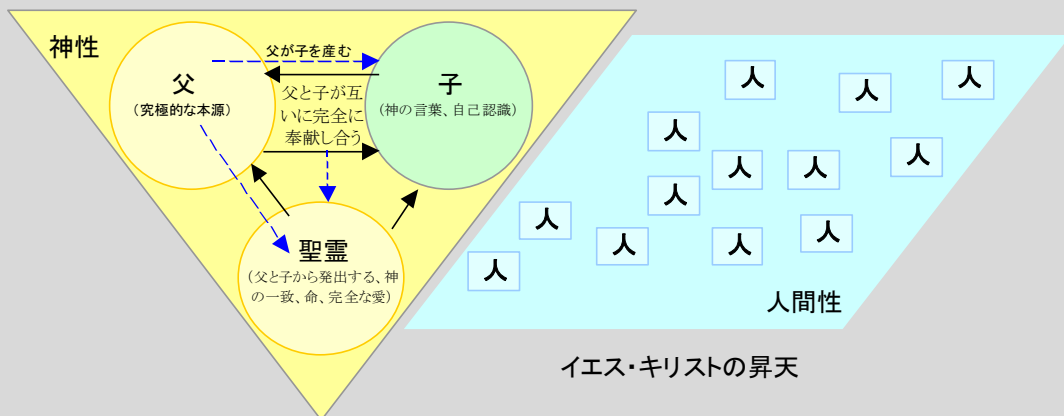
## ◆ 聖霊と教会

- **聖霊降臨** (たまものとしての聖霊の派遣) — 教会の誕生
  8. 聖書「人々は驚き怪しんで言った。「話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。どうしてわたしたちは、めいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのだろうか。」使 2:7-8  

「この日 (聖霊降臨)、聖三位が完全に啓示されます。この日から、キリストによって告げ知らせられた神の国は、キリストを信じる人々に開かれます。彼らは人間としての弱さを持ちながら、信仰によってすでに聖三位の交わりにあずかります。聖霊はたえず訪れ、世界を「終わりの時代」、教会の時代、神の国に導き入れます。その神の国はすでに始まっていますが、まだ完成したわけではありません。」(カトリック教会のカテキズム 732)
- **聖霊の働き**
  9. 聖書「神の霊以外に神のを知る者はいません。」 1 コリ 2:11
  10. 聖書「聖霊によらなければ、だれも「イエスは主である」とは言えないのです。」 1 コリ 12:3
  11. 聖書「その方が来れば、罪について、義について、また、裁きについて、世の誤りを明らかにする。」 ヨハ 16:8
  12. 聖書「希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。」 ロマ 5:5
  13. 聖書「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。」 2 コリ 13:13
  14. 聖書「あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる霊ではなく、神の子とする霊を受けたのです。この霊によってわたしたちは、「アッバ、父よ」と呼ぶのです。」 ロマ 8:15
  15. 聖書「これに対して、霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。これらを禁じる掟はありません。キリスト・イエスのものとなった人たちは、肉を欲情や欲望もろとも十字架につけてしまったのです。わたしたちは、霊の導きに従って生きているなら、霊の導きに従ってまた前進しましょう。」 ガラ 5:22-25
  16. 聖書「わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられていきます。これは主の霊の働きによることです。」 2 コリ 3:18



神の子の受肉 (みことばの派遣) によって、キリストは二つの本性 (神性と人間性) を持つ方です。(真の神であり、真の人間です)



創造されることによって人間は、神の存在にあずかりますが、聖霊を受けることによって、人間は、神の本質にあずかります。

- 「キリストと聖霊との派遣は、キリストのからだであり、聖霊の神殿である教会において実現されます。
- このときから、両者の派遣はキリスト者を、聖霊において御父と交わっておられるキリストとの交わりにあずからせます。
- 聖霊は人々をキリストに引き寄せるため、先に恵みを与えて彼らを準備して下さいます。
- 聖霊は復活された主を示し、キリストの**ことばを思い起こさせ**、キリストの死と復活の**意味を悟らせて**下さいます。
- また聖霊は、とくにエウカリスチア（感謝の祭儀）においてキリストの**神秘を現在化し**、それによって人々を**和解させ**、**神との交わりに入れ**、『多くの実を結ぶ』ことができるようにして下さいます。」（カトリック教会のカテキズム 737）
- 「頭であるキリストが**肢体に注がれる聖霊は**、**教会を建て**、**生かし**、**聖化**されます。教会は聖三位と人間との交わりの秘跡です。」（カトリック教会のカテキズム 747）

### ◆ 神の最高の賜物

17. 「あなたがたは、もっと大きな賜物を受けるよう熱心に努めなさい。そこで、わたしはあなたがたに最高の道を教えます。たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル。」 1 コリ 12:31-13:1

18. 「このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は**求める者に聖霊を与えて**くださる。」 ルカ 11:13

「神は愛です」（一ヨハネ 4・8、16）。神の愛は第一のたまものであり、この愛のうちに他のすべてのたまものが含まれています。この愛は「わたしたちに与えられた聖霊によって、わたしたちの心に注がれて」ローマ 5・5) います。」（カトリック教会のカテキズム 733）

「わたしたちは罪によって死んでいるか、あるいは少なくとも傷ついているので、愛のたまものの**第一の効果は**、わたしたちの**罪のゆるし**です。教会の中での「**聖霊の交わり**」（二コリント 13・13)を通して、**罪のために**そうではなくて**なっていたのに**、再び神に似た者とされるのです。」（カトリック教会のカテキズム 734）

## ◆ 堅信の秘跡

19. ㊦ 「あなたがたはこれらのことの証人となる。わたしは、父が約束されたもの（聖霊）をあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」ルカ 24:48-49
20. ㊦ 「彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っている...」使 2:11
21. ㊦ 「エルサレムにいた使徒たちは、サマリアの人々が神の言葉を受け入れたと聞き、ペトロとヨハネをそこへ行かせた。二人はサマリアに下って行き、聖霊を受けるようにとその人々のために祈った。人々は主イエスの名によって洗礼を受けていただけで、聖霊はまだだれの上にも降っていなかったからである。ペトロとヨハネが人々の上に手を置くと、彼らは聖霊を受けた。」使 8:14-17
22. ㊦ 「わたしたちとあなたがたをキリストに固く結び付け、わたしたちに油を注いでくださったのは、神です。神はまた、わたしたちに証印を押して、保証としてわたしたちの心に“霊”を与えてくださいました。」2コリ 1:21-22
- 「堅信の秘跡は受堅者に按手して、『父のたまものである聖霊のしるしを受けなさい』といいながら、聖香油を塗布することによって授けられます
  - 聖霊のこの証印は、キリストへの全面的に所属、永遠にその奉仕者となったことを示しますが、また、終末の大きな試練に際して神が守ってくださる約束をも表すものです。」(カトリック教会のカテキズム 1296)
  - **堅信の効果** (カトリック教会のカテキズム 1303)
    - わたしたちに「アッパ父よ！」と叫ばせる神の子としての身分を強め、深めてくれます。
    - わたしたちをいっそう固くキリストに結びつけてくれます。
    - わたしたちのうちに聖霊のさまざまなたまものを増やしてくれます。
    - わたしたちと教会との結びつきをより完全にしてくれます。
    - 聖霊の特別な力を与え、キリストの真の証人として、ことばと行いによって信仰を広め、擁護し、キリストの名を勇敢に公言し、十字架を決して恥じないようにさせてくれます。
  - **堅信の秘跡が洗礼の恵みの完成**であります。(カトリック教会のカテキズム 1285)

- ◇ 洗礼を受けることによって私たちは神の子になりました。今、神の子であり、永遠に神の子であるということは、私たちについての最も重要な事実、私たちの最も大切な身分ですが、イエスのように神の子らしく生きて、成長するために、この事実を自覚し、この身分を自分の最も大切に、中心的な自己同一性にしなければなりません。
- ◇ イエス・キリストを知ることによって、神の子であるというのは、どういうことであるかと知ること、つまり本当の自分がどんな者であるかということを知ることができます。
- ◇ 神の子として生き、完成させていただき、神の心に適う者になるために、聖霊を受け入れると共に、聖霊の働きを受け入れる必要があります。

## 聖霊の続唱

聖霊来てください、あなたの光の輝きで、  
わたしたちを照らしてください。  
貧しき人の父、心の光、あかしの力を注ぐ方。  
やさしい心の友、さわやかな憩い、  
揺るぐことのない拠り所。  
苦しむ時の励まし、暑さのやすらい、うれしい時の慰め。  
恵みあふれる光、信じる者の心を満たす光よ。  
あなたの助けがなければ、全てははかなく消えてゆき、  
誰も清く生きることはできない。  
汚れたものを清め、すさんだ心を潤し、  
受けた痛手をいやす方。  
固い心をやわらげ、冷たい心を暖め、乱れた心を正す方。  
み言葉を信じてより頼むものに、とうとい力を授ける方。  
あなたはわたしの支え、恵みの力で救いの道を歩み続け、  
終わりなく喜ぶことができますように。 アーメン。